

くまもと

議会だより

100号

2021.2.10

がんばってます

成人式延期 皆さんと会える日を楽しみに

復旧・復興で熱論 一般質問

もくじ

12月定例会	2
12月定例会議案等審議結果	3
議長挨拶	4
一般質問	6
編集後記	14

一般会計補正予算約4億7千万円を 原案可決して、総額100億円を越す

提案された議案は全て原案のとおり認定・可決・同意

初日の11日は、9月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、一部事務組合議会の報告を行いました。

続いて、令和元年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告、令和元年度の一般会計及び特別会計の決算の認定5件、条例の一部改正1件、令和2年度の一般会計及び特別会計の補正予算5件、固定資産評価審査委員会委員の選任同意2件の合計14議案が上程されました。

なお、令和元年度の一般会計及び特別会計の決算の認定には、全議員10名を委員とする「決算審査特別委員会」を設置して、二日間にはわたり村当局関係者の出席を求め、決算議案の審査に当たりました。



相良橋旧橋撤去工事

令和2年度一般会計
及び特別会計補正
予算を審議、可決

一般会計補正予算の主なものは令和2年7月豪雨災害から

の復旧・復興事業及び豪雨被害により中止になった事業に関連する予算の補正で、ふるさと応援基金と災害復興基金への積立金、被災家屋解体や災害廃棄物処理にかかる費用の増額、被災した農業用の施設や機械等の再建や修繕に係る費用の補助金、被災した球磨村森林組合所有の木材運搬用トラックの新規購入費補助金、高齢者生活福祉センターせせらぎの空調設備更新費用、GIGAスクール構想※に伴う一勝地小学校及び球磨中学校のネットワーク環境の改修費などが計上され、4億7,590万7千円を追加し、歳入歳出総額100億527万6千円となりました。

特別会計では、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計で主にシステム改修費用が計上され増額となり、簡易水道特別会計で災害の影響により渡地区配水管更新工事ができず、総額2,870万4千円の減額となりました。

※GIGAスクール構想

児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想

【条例一部改正】

① 球磨村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税の減額に係る所得の基準について、基礎控除額相当分の基準額を33万円から43万円に引き上げる等の規定の整備

【人事関係】

球磨村固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴う選任同意では、全会一致で2名を同意しました。

大坂間茂さん（柳詒地区）

永椎龍一さん（永椎地区）

【発議】

小川議員から「教職員定数の改善及び義務教育に係る確実な財源保障を図るための意見書」が提出され、全会一致で可決しました。

1 2月定例会 議案等の審議結果

	議案番号	件 名	結 果
1	報 告 第 7 号	令和元年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	報告
2	議 案 第 65 号	球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
3	議 案 第 66 号	令和2年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
4	議 案 第 67 号	令和2年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
5	議 案 第 68 号	令和2年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
6	議 案 第 69 号	令和2年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
7	議 案 第 70 号	令和2年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
8	認 定 第 1 号	令和元年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定
9	認 定 第 2 号	令和元年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定
10	認 定 第 3 号	令和元年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定
11	認 定 第 4 号	令和元年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定
12	認 定 第 5 号	令和元年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定
13	同 意 第 12 号	球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案同意
14	同 意 第 13 号	球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案同意
15	発 議 第 6 号	教職員定数の改善及び義務教育に係る確実な財源保障を図るための意見書について	原案可決

安心・安全な村の復興を目指して



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃から議会に対しましてご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が日本中で蔓延し始め、村の事業のみならず、経済活動、学校の授業などあらゆる活動が抑制され、ようやく活動が再開できるといった矢先の7月4日、豪雨災害により村民の生活が一変し、村にとって苦難の年となりました。

災害発生後、全国各地から駆けつ

けていただいたボランティア、自衛隊、警察及び他自治体のからの支援部隊の献身的な活動や、村内・県内を初め、全国から物心両面にわたり温かい支援の手が差し伸べられていることに対し、心から感謝申し上げます。

発災以降、多くの村民の皆様がかつてない苦難に直面され、今も仮設住宅等で不自由な環境での生活を余儀なくされています。

今後、村民の生活再建に取り組むと共に、球磨村の復興に向けた道標を示すことで、村民の皆様が希望の持てる年になることを心から念願するものでございます。

議会といたしましても、全員協議

会の開催や被災箇所の現地視察、平地になり得る高台の現地調査を実施して参りました。また、全議員による豪雨災害復旧・復興対策特別委員会を設置し、復旧・復興に向けた取り組みを推進しています。

私たちは確かに甚大な損害を被りましたが、全てを失ったわけではありません。日常生活を取り戻すことや心の傷を癒すことは、容易なことではありませんが、それでも、立ち止まってはいられません。今年は、村民の英知を結集し、村の復旧・復興作業を加速させる復旧・復興元年としなければなりません。

豪雨災害から7ヶ月が過ぎ、本年から「球磨村復興計画」に基づ

き具体的な行動に入りますが、議会としても被災者の生活再建を初め、災害の早期復旧に向け、また、安心して住み続けられる村となるよう、村民の思い、声に寄り添った議会運営に努めて参ります。

どうかこれからも、力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭に当たってのごあいさつとさせていただきます。

令和3年1月吉日

球磨村議会議長 多武 義治

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
田代利一議員	① 令和2年豪雨災害	6
犬童勝則議員	① 7月豪雨災害	7
板崎壽一議員	① 豪雨災害関連 ② 教育関係	8
高澤康成議員	① 今後のむらづくり ② 教育環境	9
東 純一議員	① 電波難聴 ② 村内の防火体制 ③ 復興対策 ④ り災証明	10
舟戸治生議員	① 7.4豪雨災害	11
嶽本孝司議員	① 豪雨災害を受けて ② 球磨川の環境 ③ 県道人吉水俣線	12
小川俊治議員	① 治水対策	13



豪雨災害を受け村長の所感は

答

地域コミュニティの力強さを再認識した

質問 災害を受けての所感と初動対応は。

松谷村長

村内広範囲に甚大な災害を被り、25名の尊い命を失いました。又、交通機関が通行不能となりほぼ全集落が孤立状態となり、救助されるまでの間集落相互に協力し合う地域コミュニティーの力強さを再認識した。7月3日17時に避難準備情報を発令し、その後避難勧告・避難指示（緊急）を防災無線で呼びかけたが停電や悪天候にて救助活動が遅れたが被災した村民の多くを救出できたと思う。

質問

山口総務課長

役場も災害を受け停電・通信機器の停止で孤立した状況であり七月七日に本部をさくらドームへ移行した。役場では村長が指揮を取っていたが、ドームの本部開設してからは村長・防災管理官・広報担当とそれぞれ連携をし指揮を取った。

質問

今後消防署等の広域化

はどう思うか。

松谷村長

定例会等にて検討課題となっていて、上球磨と下球磨との組織の中で検討されると思うが、今答えることは特にならない。

質問

松谷村長

インフラ等復旧が遅れているのでは。

高永ふるさと創生課長

国道・県道については少しずつだが進んでいる。村道・林道等は現在査定中で年度内に終了させ、来年度以降の工事発注を目指す。インフラ関係についても電話・インターネットが使えない地域もあり早急に復旧できるよう頑張る。

質問

松谷村長

今回の災害で県道人吉水俣線の必要性は。人吉大柿からの県道水俣線については国・県に何回も要望しており、議会災害特別委員会と一緒に頑張って強く要望していく。

質問

災害にて商店がなくな



田代 利一 議員

高永ふるさと創生課長

村内外から移動販売という形で五社と締結し、村内くまなく回っているが、買物弱者が出ないようにならざるを得ない。今後は商工会と連携しながら今後の在り方を検討していく。

質問

松谷村長

松谷村長

今回の被災・浸水災害を受けた商店の再開・再建は難しいと思うが村としてできるだけ早く安全な場所を提供しその場所での新たに再建していただけたらと願っている。

質問

門崎副村長

復興計画の基本の骨子でいろんな候補地を示しているが絞り込みはできない。

質問

学校再開・今後の



内閣府副大臣渡小学校視察

計画は。

森教育長

災害後休校とし8月3日に学校再開を果し壊滅的被害を受けた渡小学校は一勝地小学校へ移転したが十分な教育環境を目指して球磨中へ移転する予定である。今後小学校の統合・小中一貫校については具体的に検討はしていないが全校の教育環境充実を図る。

県道水俣線の 道路整備事業の促進の考えは

答 要望等も出ているので、国・県にも要望を
続けていく

質問 発災から約5ヶ月が
経つての村長の今の思いは。

松谷村長 豪雨災害の経験と教訓
を活かし、災害に強く、豊かな地
域自然等を後世に継承し、安全に
安心して住み続けられる村づくり。
そして本村をさらに発展させるこ
とが私たちに与えられた責務だと
考えている。

質問 単なる復旧ではなく、
より災害に強い、地域社会をつく
る創造的復興とは。

松谷村長 これまでの復旧ではな
く新たに強い、強靱化、そういう
ところを含めたところで復興して
いかなければならないと思ってい
る。まずはインフラ関係。今後こ
のような災害があっても、すぐ復
旧できるようなインフラの道路等
にしていこう。

質問 今回の有事の際の迂回
路として位置づけられる県道人吉
路として位置づけられる県道人吉

水俣線の道路整備事業の促進の考
えは。

松谷村長 三ヶ浦地区からの要望
書も出ておりますので県のほうに
も要望を続けていく。

質問 今回の災害により一勝
地方面から人吉方面へのアクセス
として村道毎床越線、千津地区を
通る村道井手線が迂回路となった
が村道井手線の整備についての考
えは。

上郡建設課長 まず災害復旧で重
要な部分があるので人吉市側と連
携も取りながら改良を考えたい。

質問 今回の農業土木災害の
被害額と農地の復旧、営農再開に
向けての取組の支援は。

犬童産業振興課長 件数では農地
施設を含め約300件。被害額が
25億7,400万円に上っている。
農産物の生産、加工に必要な農業
用施設、機械が破損し農業経営に

支障をきたしていることから、
施設、機械の再建を支援する強
い農業担い手づくり交付金事業
に取り組む。

質問 施設や車両、橋の流
出など、甚大な被害を受けたJ
R肥薩線とくま川鉄道の復旧の
見通しは。

松谷村長 JR、くま川鉄道は
村民の通学、通勤等に必要不可
欠な公共交通機関であるので今
後さらに関係機関と連携して、
復旧が加速するよう働きかけを
行っていく。

質問 教育現場の状況と渡小
の復旧は。

森教育長 渡小は仮設校舎で一勝
地小の施設を共有しながら教育活
動を行っているが、十分な教育環
境とは言えず、一勝地小の児童に

も不便をかけている。今後の教育
環境を考えたとき、球磨中の技術
室の移転とその跡地に渡小のプレ
ハプ型の仮設校舎の建設を計画し
ている。

質問 災害により道路の寸断
で、通学路の安全確保が課題となっ
ているが、その対応と対策は。

森教育長 路線については毎日の
運行により危険箇所のチェック、
そして毎月定例のスクールバス会
議で運転手と各校長、教育委員会
の三者による情報共有の場を設け、
安全確保に努めている。



八久保と人吉市大柿地区

犬童 勝則 議員

安全で安心な 暮らしができる代替地は

答

アンケート調査にて選定したい

質問

仮設入居者を含む被災者の高齢者と子ども達の健康管理と心のケアは。

松谷村長 地域支え合いセンター

事業を開設し仮設住宅を中心に巡回訪問をし、住みられない場所での生活で健康面や精神面に不安が

あり、心のケアを必要とされる方々の健康調査支援を行い、関係機関と連携を図りながら支援活動を展開していく。

質問

安全で安心な暮らしができる代替地は。

松谷村長

アンケート調査において住宅、宅地のかさ上げ、高台移転を求める意見が最も多く、地域でのかさ上げや高台移転を検討中であり、第二回目のアンケート調査にできるだけ住民の皆様方の希望に沿った安全で安心にらせる宅地を選定したい。

質問

被災した村営住宅の解体とその土地は。

松谷村長

水害により被災した村営住宅は全て解体する方針であり、同場所への再建は考えていないし、土地の利用方法も考えていない。

質問

仮設住宅入居者は今後



板崎 壽一 議員

の村営住宅はどうなるのか不安な生活を送っているが。

松谷村長

仮設住宅や村外のみなし仮設住宅等で生活されている被災者、住民の方々の意向を踏まえ必要となる災害公営住宅の整備を図り復興計画と併せて検討を進めている。

質問

復旧・復興が大事な時に村民の意見を聞かず川辺川ダム問題とはいかがなものか。

松谷村長

川辺川ダム問題は村の復旧・復興にとって密接に係わることであり、切り離して考える事はできない。賛否両論あると思うが住民の皆様丁寧に説明しながらダムのご理解を深めていただくよう努力していく。

質問

山間部の土砂堆積、急

傾斜地域の整備、代替地の確保等ダム容認とは逆ではないか。

松谷村長

代替地についてはアンケート・懇談会等で出た住民の方々の気持を把握した上で場所の選定をしていきたい。今、治水対策で一番効果があるのがダムだと思う。ダムを含めた治水対策を行うことで今後の洪水から人命・財産を守ろうという方針で流域の市町村にて国・県に要望している。そんな中土砂撤去・道路網の整備等今できるところから復旧・復興に取り組んでいる。

質問

一勝地小学校の遊具が少なくと思うが。

森教育長

一勝地小学校の運動場は非常に狭く授業で使う遊具が優先され、ブランコ等設置する場所が取れない状況であり、七月豪雨から渡小学校と同敷地で学び、ますます狭くなり今後渡小学校の球磨中移転を機会に両校の遊具の整備を進めていきたい。



支え合いセンター活動

住民の代表となる実践者の一人としての覚悟は

答 最終的には村長の判断とし、すべての責任をもつ



神瀬地区懇談会

質問 災害後の住民説明会の目的が、住民にどれだけ理解されたのか、村長に求められることは何か、村長は何を感じたのか、多数の有識者からの提言も含め、住民の代表となる実践者の一人としての覚悟を聞く。

松谷村長 求められるものは、治水対策を含め、復旧・復興を進め、議会と共に成し遂げること、村民から信頼されることも目標としている。何を感じたのかは、復旧・復興そして村づくりは、村民と行政が一丸となる必要がある。常に村民の目線に立つことを心掛け、政運営に努め、執行に当たっては、担当課長を信頼し、任せること。実践者の覚悟については、村長として不足していることは有識者に補っていただき、最終的には村長の判断とし、すべての責任を持つこと。

質問 敬老年金・障がい者福祉年金支給について、専決処分で条例を改正し、支給停止で提案。

9月議会定例会では専決処分については不承認とした。10月の議会臨時会に専決処分の不承認に伴う措置が報告され、議会は承認した。専決処分案での条例改正、支給停止の判断は間違っていないかったのかどうかを聞く。

松谷村長 被災した混乱状況の中で、支給ができるかどうか考えたが、職員も災害対応しており無理と判断した。

質問 支給予算について、コロナ給付金がすり替わるようなことを提案されたが、考えは。

松谷村長 コロナ給付金は、全市町村が給付とはならない。給付方法は前回の実績もあり、すり替わ

るとの表現はどうかと思うが、敬老年金・福祉年金支給はコロナ給付金で代わりとした。

質問 球磨村災害見舞金について、これまでの上限50万円以内を10万との提案に、議会は厳しい生活環境とこれまでの慣例を守ることで、修正動議をかけ可決、厳しい村予算の背景も考慮し、分割の支払い方法も提案した。3分割で支給、2・3年目支給は住民基本台帳に登録され罹災証明の交付を受けた世帯との案が示されたが、被災者に寄り添った提案か。

松谷村長 罹災者も多く、見舞金総額も2億円近い額になることから、今後の復旧・復興を考えたとき大切な予算であり、他町村の支給額も参考にした。来年度以降の支給は村に残っていただきたい願いで提案となった。



高澤 康成 議員

村民の生活の再建、村の復興対策は

答 ニーズを把握しながら、できるだけ早く宅地や災害公営住宅等の整備を行う

質問 村内多くの地域が電波難聴地区であり、災害発生時の第一情報提供手段となり、防災力の向上にもつながると思われる施設設置の必要性については。

松谷村長 電波難聴解消は、山間地が多い本村にとって解決すべき課題であると認識しているが、大きな課題として財政的なものがある。デジタル防災行政無線施設の整備を完了させ、基礎構築を優先していきたい。

質問 多くの地区が甚大な被害を受けている今、消防の組織体制と防火施設等の状況は

松谷村長 消防積載車や消火栓、防火水槽の多くが被災しており、消防団機能としては防火体制において、現状では消防活動が憂慮されるところであるが、隣接消防団の取扱基準を定めている。消防団の団員も仮設住宅などで生活を



大瀬地区住民と消防団員による防火水槽清掃

余儀なくされているが、隣接する消防分団から応援することとしており、完全ではないが対応できるものと考えている。施設の復旧に努めていきたい。

質問 土地も家屋も公共施設



東 純一 議員

等も大きな被災を受けた。今後の住民の生活再建、村の復興対策については。

松谷村長 避難を余儀なくされていた皆さんは、仮設住宅で暮らしていたにいたる状況で、入居については2年の期間設定があるが、熊本地震においては個々の状況により、入居期間延長もあった。被災されている皆様方のニーズを把握しながら、できるだけ早く宅地や、災害公営住宅等の整備を行っていききたい。

質問 村民には、住んでいた場所に残りたい気持ちと同時に、月日の流れとともに、不安は増大し、愛着心は薄れていく、今こそ村のトップとしてのメッセージを村民に送るべきではないか。

松谷村長 復興計画の骨子において、住民の方には説明したいと思っている。今できることを一つ一つクリアしていったらいい。そういう状況であり、ご理解いただきたい。

質問 被災地においては、夜には全く無人となり、真っ暗状態の地区も多々ある。明かりといえは街灯のみで、現状としては、まさしく防犯灯状態になっている。無人の被災地区として、何らかの対応はできないか。

山口総務課長 維持、電気料については、県での復興支援的な補助金について活動できないか今後検討していきたい。

質問 罹災証明は、支援制度上、重要な証明である。判断によっては申請者の今後の人生、生活設計を大きく左右することになる。担当課としての思い、考えは。

境目税務課長 急きよ編成された体制の中、いかに業務内容把握習得し、対応できるか、今後研修と教育を重ね、対応を図っていききたい。

復興のため球磨村をどのようにリードしていくか

答 村民の意見を取り入れながら村づくりをやっていく

質問 被災地の障がい者の安否確認は。

松谷村長 発災直後、障がい者に限らず被災者の安否確認については、警察、消防、自衛隊の協力を得て、球磨川沿いを中心に行方不明者の搜索を、在宅で福祉サービスを受けておられない障がい者の方にも安否確認を行った。

質問 今回の豪雨災害において、要援護者支援計画は実際に機能したのか。

松谷村長 今回は民生委員の方々から大雨警報が発令される恐れがある時点において、事前に要支援者に対して早目の避難について心がけるよう注意を呼びかけ、要支援者台帳に登録された方での災害による事故者はなく災害から尊い生命を守ることができた。

質問 避難行動要支援者情報の共有は。

大岩住民福祉課長 球磨村の場合、本人の同意方式としている。

質問 これからの復興を考えるとき、コンパクトシティ構想が災害復興の一つの仕事ではないかと思うが、その考えは。

松谷村長 合意形成など様々な諸問題があることから、現在、策定をしている復興計画の中で村づくりをどのように捉えていくのか研究していく。

質問 これからは福祉と環境がともに豊かなところ、人はそういうところで人生を送りたいと考えていると思うが、球磨村の可能性についての考えは。

高永ふるさと創生課長 住民の方には、地元で暮らしたい、地元で全うしたいという方々もおられると思うので、住民の方に丁寧な説明をして、検討していく。

質問 高齢者にとっては日常

の生活にも不便が生じていることから地域の中に商店を再び復活させることも必要だと思うが、買い物難民の支援は。

松谷村長 来春には、総合運動公園敷地内に美容室、郵便局などの仮設店舗を設置する。

質問 球磨村を復興させるため、村長として、球磨村をどのようにリードしていくか。

松谷村長 執行部、議会とともに課題に向き合いながら村民の皆様の意見を取り入れながら村づくりをしていく。

質問 豪雨被害によって、環境全てに想像を絶する影響を及ぼしている。環境に配慮した農業、林業、水産業、工業、商業、観光業の促進の考えは。

松谷村長 豪雨災害の被災地である球磨村だからこそ環境に配慮した先進的な村づくり、地域づくりを目指していく。

質問 被災した農家への営農再開、稼げる農業への支援への実施に向けた考えは。

犬童産業振興課長 被災された農家に対しては、強い農業担い手づくり支援交付金事業で支援していく。



舟戸 治生 議員



買い物支援見守り隊協定

球磨川の掘削状況は

答 球磨川が約64万³m³、川辺川約11万³m³と聞いている

質問 指定避難所に今、発電機はあるか。

山口総務課長 発災前、指定緊急避難場所が村内6か所あり、全て熊本県の補助金をいただき設置されていた。現在は被災しており、そこは機能していない。

質問 12年間に行われた球磨川の掘削状況はどのくらい進んでいたのか。

門崎副村長 国の直轄河川ということで、本流の詳しい資料は示されていないが、上流域の水上村から下流域の八代までの区間で、平成21年から令和元年度までに約64万³m³の掘削が本流では実施されていると聞いている。これとは別に、県管理区間の川辺川が、平成21年から令和元年度までに約11万³m³が掘削されていると聞いている。

質問 スクールバスでの送迎については、小中学生が一緒に同

乗している。バス内での児童のいじめなどはなかったか。

森教育長 バスの中でトラブル等が発生した事実はあり、ご家庭にもきちんと連絡し、学校で事実関係を確認した。子どもたちへの指導、家庭への連絡等を行い、謝罪し和解決した。現在、小中学校の高学年が班長となり、バス乗車についてリーダーシップを取ってくれている。非常に模範となる姿もある。

質問 小さな組合が運営する集落給水で、災害で水源地が確保できない状況となり、一勝地の簡易水道から引かせてもらう願いをされたが、工事費として、水圧が高く、取り出すときに特殊工法であるので工事金額が高くなるとの説明を受けた。

特殊工法であれば、それは村側の附帯設備なので、新たに入る場合は加入金だけで済まされるもの

ではないか。

上郡建設課長 追加加入であり、その工事に對する工事費は追加加入される方、新しく加入される方の工事になり、簡易給水の規約に載っている。ただ、加入金につ

いては、災害とか特殊な事情があれば村長が認めるものということで免除することができるとなっている。

質問 合併浄化槽については、災害を受け、また新たにやるとなると相当な負担がかかってくる。行政として、メンテ会社と管理会社の個人だけのやり取りでなく、浄化槽のメーカーも間にいれて再生できるかできないかという寄り添う姿勢で浄化槽については



議員 孝司 本嶽

やっていたきたいが。

戸屋生活環境課長 被災の浄化槽については、人吉衛生設備管理が被災世帯を回られ、点検し説明をして、もし不在の所はチラシを入れている。現場に立ち会いもしたが、全部吸える状況ではない。どうしても分からない状況であり、その点が補償できない。チラシは、住民の方で対応いただき、会社、役場に相談くださいとの内容であった。



被災した浄化槽

質問

甚大な被害が村に残したものは何であったか、率直な思いを伺う。

松谷村長

5ヶ月が経過したが、今なお手つかずの状態が多く方々が苦しんでおられることと思う。復旧・復興に向けて今できることを粛々と進め、時間を要するが、丁寧に説明していきたい。

質問

復旧・復興に向けて村民が共働しあって、行政も議会も一つになり進める。このことも残したのではないか。

松谷村長

新たな村づくりに皆さん協力してやっていかなくてはいけないと思う。

質問

新たな治水対策を進める前にこれまでのダムによらない治水対策の検証が先だと思う。また、村の治水安全度の現状を村長はどのように考えるか。

松谷村長

村においては、堤防の強化、内水排水ポンプの設置、導流堤、宅地のかさ上げ、上流域でも河道掘削、引堤、築堤などの現実的な対策を講じてきた。治水安全度は多少は向上するが、ダムによらない治水対策が完了していたとしても、地形的に川幅の狭い球磨村においての治水安全度はさらに低いと思う。

質問

検証委員会の報告の結果について、現状十分か不十分かどうか。

松谷村長

検証委員会の結果は十分との判断ができるものと思う。

質問

治水安全度は低い、検証結果は十分この判断に整合性はあるのか。

松谷村長

3年から5年に一度の洪水に対応できる対策と思う。しかし、それを上回る豪雨災害であつ

た。これまでの治水対策は十分とは言えないが、ダムがあれば治水に対する安全は数値でも示されている。

質問

防災マップに示されている浸水区域は検証委員会が示す実績浸水区域でおおむね再現とされているが、新たな浸水区域を住民情報として示すことができなかったのか。

松谷村長

現在防災マップは、平成28年3月に作成・配布している。平成29年3月に九州整備局が示した最大浸水想定型への対応はしていない。現在の浸水区域は7月の豪雨で浸水した区域を照合すると、おおむね網羅しており有効であることから、生きたハザードマップであると考



小川川掘削状況

答

治水はダムを外しては考えられない村長としての判断

ダムの必要表明は、私的か、民意を汲んでの判断か



小川 俊治 議員

える。しかし最大浸水想定型に更新する必要がある、本年度中に作成・配布予定。

質問

ダムは必要と表明されているが、私的な考えか。村民の意見を聞き丁寧な姿勢で臨むとされているが、民意を汲んでの判断か。

松谷村長

一番治水効果がある川辺川ダムを外して考えられない。民意を聞いての判断ではない。村長としての判断。

国・県へ要望活動を実施



災害からの復旧にはまだまだ多くの時間が必要です。また、災害からの復旧のみならず、球磨村の未来を見据え、復興に力を入れていかなければなりません。

そのため、議会では、被災者の一日も早い生活の再建及び災害からの復旧、復興に向けて調査、検討を行う「豪雨災害復旧・復興対策特別委員会」を設置し、議論を進めています。

議論の中で、球磨川に架かる橋が被災したことで、三ヶ浦地域の方が不便とのことから、国

と県に対し要望活動を実施しました。

11月22日には衆議院災害対策特別委員長 金子恭之衆議院議員へ、12月25日には、国・県に対し、①相良橋の仮橋での早期復旧②県道人吉水俣線の国による権限代行での早期復旧とともに、球磨村地域の復旧・復興に資するため、未開通区間の人吉市大柿から球磨村八久保間を一体的に整備されるよう要望しました。

どなたでも傍聴できます。 次回は、3月定例議会（日時未定）

12月定例議会の傍聴人数は、延べ21人でした。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を1つ空けて着席をお願いしました。

編集後記

新春にかける思いがあるはずなのに、今年の年明けは、何かどうより曇った冬そのものである。

新型コロナウイルスの猛威が止まらない。いつもの正月と違い、寄り正月もままならない、集まらなければ話してもできず、何もかも延期と中止になる。

豪雨災害から半年が過ぎ、本格的な復旧・復興の道筋をつけるべき時期であるが、止まることはさけない。みんなの知恵と工夫で乗り越えなければならない。

議会だよりも、100号となる。皆さんに読まれ、親しまれる紙面づくりに努力してきたがまだまだである。今後も、ご愛読のほどお願いいたします。

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	板崎 壽一

■球磨村世帯数:1,373世帯 ■人口:3,367人 男:1,609人 女:1,758人(令和3年1月1日現在)